

「和木町地域協育ネット」の取組について

【和木町 和木中学校区】

地域の概要

和木中学校区は、山口県の東端、小瀬川を挟んで広島県との県境に位置します。海岸沿いにコンビナートがあり、化学工業が盛んな地域です。

校区には保育所・幼稚園・小学校・中学校が1つずつあり、学校同士の連携が取りやすい状況にあります。また、地域住民は学校や町の行事等に大変協力的です。

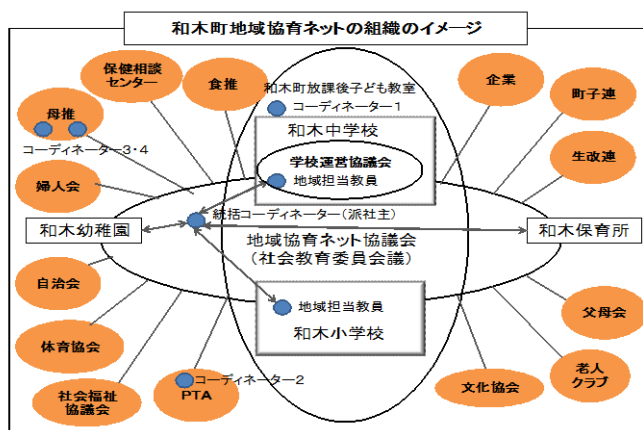
人口	6,551人	
世帯数	2,792世帯	
対象校及び児童生徒数	和木中学校	197人
	和木小学校	397人

組織の内容

既存の社会教育委員会を推進母体（地域協育ネット協議会）とし、複数のコーディネーターを配置しています。

地域協育ネットの組織のイメージは右図のように考えています。

統括コーディネーターを派遣社会教育主事が担い、放課後子ども教室コーディネーターやPTA役員、母子保健推進協議会の役員に地域協育ネットのコーディネーターを依頼しています。



昨年度から、小・中学校は、「地域担当教員」を校務分掌に位置付け、コーディネーターとの連絡調整を行っています。

放課後子ども教室の活動は軌道に乗っており、コーディネーターを中心に、指導者及び教育活動サポーター等、地域住民の支援を受けて運営されています。

幼・小・中の連携については、教職員の合同研修会において計画的に進められています。「家庭学習の手引き」を作成するなど、家庭や地域と連携した取組も進められています。

家庭教育支援については、本町における子育て支援の核となる組織である、母子保健推進協議会の役員にコーディネーターを依頼したことで、子育て支援関係団体とのネットワークづくりも軌道に乗ってきています。町内の子育て支援活動を紹介したパンフレットを、母子保健推進協議会の役員のコーディネーターと保健相談センターの保健師が共同で作成し、保健相談センターの利用者に配付するなど、町長部局との連携も進められています。

特色・重点的な取組

昨年度立ち上げた「すくすくフェスタ実行委員会（母子保健推進協議会の役員のコーディネーターが実行委員長）」を中心に、家庭教育（子育て）支援を行っていくこととしました。

また、地域住民が学校の教育活動を支援するだけでなく、学校が地域の行事、イベント等へ参加・協力していくなど、双方向の支援体制の構築をめざしました。

主な活動の紹介

○家庭教育（子育て）支援について

昨年度立ち上げた「すくすくフェスタ実行委員会」が主体となって、主に乳幼児とその保護者を対象としたイベント「すくすくフェスタ in わき」を開催しました。子育て支援団体ごとにコーナーを設け、親子で楽しいひとときを過ごしていただきました。

初めての取組にもかかわらず、会場は多くの来場者でにぎわいました。運営に携わった子育て支援団体の皆さんにとっても、やりがいのあるイベントとなりました。



すくすくフェスタ in わき

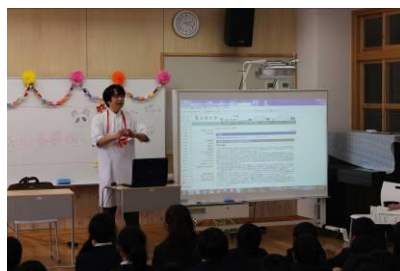
○学校支援について

和木町は以前から小中連携が盛んで、キャリア教育についても、小学校と中学校が連携した取組を行っています。

和木小学校では、6年生を対象に職業講話を行っています。今年度は12名の方に来ていただき、仕事の様子や、やりがいなどについて学びました。今年から地域コーディネーターを介して講師を探しましたが、これまでよりも業種が増え、児童の多様なニーズに対応できました。

和木中学校では、1・2年生を対象に、和木中卒業生の元キャビンアテンダントの方を講師に招き、職業講話と接遇に関する授業を行いました。

3年生については、昨年度から地域の方を面接官役として面接練習を行っています。普段とは違った緊張感のある雰囲気の中で行う面接練習は、生徒にとって、より実際に近い経験ができ、地域の方にとっては生徒の成長を見届けることができるよい機会となっています。



小学校 「職業講話」



中学校 「面接指導」

成果と課題

家庭教育（子育て）支援については、上記の「すくすくフェスタ in わき」を開催することで、子育て支援を行っている各団体間の結び付きが強くなったように思います。このイベントは今後も継続して開催していくことから、「すくすくフェスタ実行委員会」を中心として、家庭教育（子育て）支援のネットワークを広げていきたいと考えています。

今年度、地域から中学校に対する支援要望があり、コーディネーターと学校が調整を行いました。部活動等の関係で実現できなかった事例がありました。「時間が合えば地域の活動に参加したい」という生徒は多くおり、今後も小・中学生が地域で活躍できる場を提供できるよう、関係団体との連絡を密にするとともに、地域行事と学校行事との調整が可能かどうかについても働きかけていきたいと考えています。

今後の取組

今年度から、和木中学校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールを導入しました。地域協育ネットコーディネーターが委員となることで、コーディネーターが学校の思いをよりの確に把握することができ、学校との連携がより強化されることにつながっています。来年度は、和木小学校でもコミュニティ・スクールを導入する予定で、小学校の委員の中から地域協育ネットコーディネーターを配置し、より充実した学校支援の体制づくりができればと考えています。